

2023年 9 月 27 日

各 位

会 社 名 ラクオリア創薬株式会社
代 表 者 名 代表取締役 武内 博文
(コード番号：4579)
問 合 せ 先 取締役 須藤 正樹
(TEL. 052-446-6100)

EP4拮抗薬のがん治療に関するライセンス契約の状況についてのお知らせ

このたび、当社の導出先である株式会社AskAt（本社：愛知県名古屋市長：古田晃浩、以下「AskAt社」）は、当社がAskAt社に導出したEP4拮抗薬（化合物コード：IK-007/AAT-007/RQ-00000007、一般名：grapiprant、以下「grapiprant」；化合物コード：AAT-008/RQ-00000008）につきまして、Arrys Therapeutics社（本社：米国、以下「Arrys社」）との間で締結したライセンス契約を、2024年3月20日をもって解約することを発表しました。

当社は、2013年1月、AskAt社との間でgrapiprantに関する権利売買契約を締結しました。当該契約に基づき、当社はgrapiprantに関する知的財産権をAskAt社に譲渡するとともに、AskAt社がgrapiprant等のEP4拮抗薬により得る収益の一定料率をロイヤルティ収入として受領する権利を保有しております。

2017年12月、AskAt社はArrys社との間のがん治療を対象とした、中国および台湾を除く全世界の権利にかかわるライセンス契約を締結しました。その後、Arrys社から権利を引き継いだIkena Oncology, Inc（本社：米国・マサチューセッツ州、以下「Ikena社」）がgrapiprantを用いた第I相臨床試験を行いました。2022年11月、Ikena社は自社による臨床開発を中止し戦略的な代替計画を検討することを発表しておりました。

今回の解約は、Ikena社の研究戦略の変更に伴うポートフォリオの見直しによって決定されたものです。

Ikena社が実施した第I相臨床試験は、切除不能または進行性マイクロサテライト安定型大腸がん患者を対象としたgrapiprantとペムブロリズマブ（キイトルーダ®）との併用試験として行われました。当該臨床試験の結果、grapiprantの有効性および忍容性が示され、2022年12月に開催された欧州臨床腫瘍学会免疫腫瘍学会議において発表されております^{*1}。今後、AskAt社はgrapiprant等のEP4拮抗薬について新たなパートナーの選定を含む戦略的オプションを実施するとしております。

当社は今後も引き続き、AskAt社との連携をより強固にし、開発支援並びにライセンス契約支援を継続して実施して、患者さんのQOLの向上に一層貢献できるよう努めてまいります。なお、本件による2023年12月期（2023年1月1日～2023年12月31日）の通期連結業績への影響はありません。

以 上

AskAt社の発表につきましては、以下記載のウェブサイトをご覧ください。

AskAt社：<https://askat-inc.com/japanese/news/detail/?jpnewsid=799>

<ご参考（grapiprantの有効性および忍容性に関する学会発表）>

※1 ポスター番号：161P

A Phase 1b Study to Evaluate IK-007 in combination with Pembrolizumab (pembro) in Patients with Advanced Microsatellite Stable (MSS) Colorectal Cancer (CRC)

[https://www.esmoitech.org/article/S2590-0188\(22\)00204-0/fulltext](https://www.esmoitech.org/article/S2590-0188(22)00204-0/fulltext)

(DOI:https://doi.org/10.1016/j.iotech.2022.100273)